

令和五年度学力検査問題

国語 ① (人文学部) 前期日程

(問題紙 一〜十六ページ 別紙解答用紙枚数 一枚)

解答時間 一二〇分

注意事項

- 一、試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 二、本冊子のページ数は右に示したとおりである。落丁、乱丁、印刷不鮮明の箇所などがある場合は申し出ること。
- 三、解答はすべて別紙解答用紙のそれぞれの解答欄に記入すること。
- 四、解答用紙の指定された欄(二箇所)に、忘れずに本学の受験番号を記入すること。
- 五、試験場内で配布された問題冊子は試験終了後持ち帰ること。

一

スポーツメーカーのナイキが二〇二〇年一月と二〇二一年五月に公開したCMに対して、日本社会における差別についての激しい論争が生じた。次の文章は、この論争を差別主義、反差別主義、反・反差別主義の問題と位置づけて分析したものの一部であり、フェイクニュースが反・反差別主義者の用いる戦術の一つであるという説明に続くものである。以下の文章を読んで、後の設問に答えよ。（*は本文の後に注があることを示す。）

◇M1(701-2)

著作権の関係上公表しない

著作権の關係上公表しない

著作権の関係上公表しない

著作権の關係上公表しない

著作権の関係上公表しない

(伊藤昌亮『炎上社会を考える 自肅警察からキャンセルカルチャーまで』より。出題に際し原文を一部改めた。)

[注]

*彼ら||ここでは、反・反差別主義者のこと。

*ファクトチェック||事実確認。

*ポストコロナル運動||植民地支配から独立したあとの旧植民地が抱える問題を提起し、解決しようとする思想運動。

*右派ポピュリズム||右翼による大衆迎合的な政治思想。

*ポストモダン||近代の価値を批判してそこから脱出しようとすること。

*レイシスト||人種差別主義者。

問一 傍線部①に「知識の点で齒が立たない相手である先生に対して生徒たちがどう立ち向かうか」とあるが、「生徒たち」のあり方について、適切でないものを次の選択肢の中から一つ選んで、記号で答えよ。

ア リベラル派に繰り返しファクトチェックをさせて疲弊させる。

イ 陰謀論的なフェイクニュースの考案によって活気づく。

ウ フェイクニュースや陰謀論の利用価値に無自覚である。

エ 偽情報によってリベラル派を混乱させる。

オ 知的論争を避けて実証の手続きを無化する。

問二 傍線部②に「原理的な違い」とあるが、素朴な差別主義と反・反差別主義にはいかなる違いがあるのか。違いがわかるように対比させながら、それぞれの性格を簡潔に説明せよ。

問三 空欄

X

Y

に入る最も適当な語句を本文中より抜き出して記せ。

問四 傍線部③に「反・反差別主義に対しては、そのメカニズムを意識することもあまりなく、というよりも素朴な差別主義と区別して考えようとすることもあまりなく、両者を一緒くたにして捉えてしまっている」とあるが、そのことによってリベラル派にとってどのような問題が生じるのかを四〇字以内で述べよ。

問五

a

ゝ

d

のカタカナを漢字に改めよ。

二

次の文章を読んで、後の設問に答えよ。（*は本文の後に注があることを示す。）

【文章A】は、ヨーロッパ旅行から帰国した漫画家の根本進が『朝日新聞』（一九六〇年五月四日）に寄稿したスケッチ入りの文章の一部である。【文章B】は、一九六〇年三月から約一年間、京都大学とベルリン自由大学の交換教授として西ドイツに滞在中だった国語学者の遠藤嘉基が、国語教育学者の西原慶一に宛てた手紙という体裁で記したものである。

著作権の関係上公表しない

著作権の関係上公表しない

(根本進「ベルリンの大人たち ナポリのこどもたち」より。『朝日新聞』一九六〇年五月四日朝刊)

【文章B】

著作権の関係上公表しない

著作権の関係上公表しない

著作権の関係上公表しない

(遠藤嘉基「ベルリン通信」より「西原慶一先生へ」。出題に際し文章の一部を改めた。)

〔注〕

*東西ベルリンへの通行は自由なのだが、一九六〇年当時、西ベルリンと東ベルリンの往来は自由だった。東西ベルリン間の通行が遮断され「ベルリンの壁」の建設が始まるのは、翌一九六一年八月のことである。

*マルクは当時のドイツの通貨単位。

*公用の旅券は国会議員や公務員が公務で渡航する際に発給されるパスポート。筆者は外務省の計画の一環で渡航した。

*パン・アメリカンは一九三〇年代から八〇年代にかけてアメリカを代表する航空会社だった「パン・アメリカン航空」のこと。なお、米英仏の占領地区である西ベルリンには、西ドイツの航空会社が就航できなかった。

*パリイ会談は一九六〇年五月一六日からフランスのパリで開催された東西首脳会談。開催直前の五月一日に、ソ連の領空に侵入したアメリカの偵察機U-2型機が撃墜される事件が発生したため、会談は決裂し、打ち切られた。

*蠟山政道は日本の政治家、政治学者（一八九五—一九八〇）。

*根本進が「朝日」に寄稿した文は「文章A」を指す。

問一 傍線部①に「東と西との接点」という、そこから来る不安から逃れるためでしょうか」とあるが、この「不安」の要因はどのようなものと考えられるか。次の選択肢の中から、当てはまらないものを二つ選んで、記号で答えよ。

ア ベルリンが東洋と西洋の接点にあること。

イ 西ベルリンが東ドイツの中にあること。

ウ 西ベルリンに米英仏の軍隊が駐留し、東にソ連の兵営があること。

エ 物資が東からも西からも流れていること。

オ 西ベルリンが経済封鎖にあつていたこと。

カ 東西での戦争があるかもしれないこと。

問二 傍線部②に「このような情景」とあるが、これはどのようなことを指しているか。三〇字以内で具体的に述べよ。

問三 空欄

X

Y

お、同じ記号の空欄には同じ語句が入る。

ア 英才

イ 音声

ウ 外国語

エ 国語

オ 文字

カ 語学力

キ 集中力

ク 注意力

ケ 直感力

コ 判断力

問四

【文章A】の波線部に「イケスの中の魚」とあるが、これは何がどのような状態であることを表現したものか。【文章A】および【文章B】からわかる当時のベルリンの状況を踏まえて、八〇字以内で説明せよ。

三

次の文章は『蜻蛉日記』の一節である。書き手である藤原道綱母の母親は長わすらいのすえに秋の初め頃に亡くなってしまった。藤原道綱母は喪に服して四十九日の法事を済ませた。この文章はその後の場面である。これを読んで、後の設問に答えよ。（*は本文の後に注があることを示す。）

著作権の関係上公表しない

『蜻蛉日記』より

〔注〕 *果てのこと＝服喪の終わりの法事。ここでは、一周忌の法事。

*導師＝法会をとりしきる僧。

*うつたへに＝ここでは、下に打ち消しをとめない、「いちずに」の意を表す。

*鈍色のもものども＝喪服など。鈍色(濃いねずみ色)は喪服に用いられた。

*藤衣＝麻布で作った喪服。川に流してお祓はらいをする習慣があった。

*琴おしのごひて＝琴に積もったちりを払うこと。

*あなたより＝叔母のほうから。

問一 傍線部①「せうと」、傍線部②「ものおぼえずなりて」、傍線部③「いみじう泣かるれば」を、それぞれ現代語訳せよ。

問二 和歌「藤衣流す涙の川水はきしにもまさるものにぞありける」には「流す」が掛詞として使われているが、それ以外にもう一つ掛詞がある。(1)その語を抜き出し、(2)何と何が掛かっているか適宜漢字をまじえてそれぞれ記せ。(3)掛詞に注意しながらこの和歌を現代語訳せよ。

問三 傍線部④「いまはとて弾きいづる」について、なぜ今になって「道綱母」がそうしたと「叔母」は思ったのか、その理由を説明せよ。

問四 『蜻蛉日記』は日記文学と呼ばれる文学ジャンルの作品である。次の選択肢の中から(A)もともと古く成立した作品と、(B)もともと新しく成立した作品を選んで、その記号を記せ。

ア 『十六夜日記』

イ 『和泉式部日記』

ウ 『蜻蛉日記』

エ 『更級日記』

オ 『土佐日記』

カ 『紫式部日記』

四

次の文章を読んで、後の設問に答えよ。（*は本文の後に注があることを示す。また、設問の都合で送り仮名を省いたところがある。）

著作権の関係上公表しない

（張耒「鴻軒記」より）

〔注〕

* 弋人 || 糸をつないだ矢で鳥を射る狩人。

* 慕 || 欲しがる。

* 鴻 || かり。秋に来る大型の渡り鳥。

* 黷暗 || おろか。

* 譴辱 || しかりとがめ、悪しざまにのしること。

* 聖世 || すぐれた天子の治める世。

* 泥塗 || どろ。

* 升斗 || わずかな俸給。

* 己卯 || 元符二年(一〇九九)。

* 庚辰 || 元符三年(一一〇〇)。

* 嗷嗷 || ここでは数多くの鴻が悲しげな声で鳴くさま。

* 陂沢 || 湿地帯。

* 唯 || はい。ここでは了解の返事。

問一 空欄 (a) (b) (c) (d) (e) に入る送り仮名をカタカナで答えよ。

問二 波線部「而欲自比于鴻、不亦愧乎」を現代語訳せよ。(文末の引用の「と」は不要。)

問三 傍線部「得無類乎」について、張子がそう考える理由を説明せよ。